

報道関係各位

2026年6月30日
日本貿易振興機構(ジェトロ)
茨城貿易情報センター

ジェトロ茨城、新所長に筑西市出身の菊池保志が着任 ～欧州・ASEANでの経験を活かし、県内企業の海外展開を後押し～

独立行政法人日本貿易振興機構 茨城貿易情報センター(以下「ジェトロ茨城」)は、河内章(かわち・あきら)が2026年6月26日付で所長を退任し、後任所長として菊池保志(きくち・やすし)が着任したことをお知らせします。

菊池は茨城県筑西市出身。2001年にジェトロに入構後、国内では横浜事務所での地域企業支援、対日投資、ものづくり・インフラ分野などを担当し、海外ではドイツ、オーストリア、ラオスの各拠点で勤務しました。直近ではジェトロ・ビエンチャン事務所長として、ASEAN地域における日本企業の事業展開支援、現地政府・経済機関との連携、投資・ビジネス環境に関する情報発信に取り組んできました。欧州とASEANの双方で培った知見を活かし、食品、農業、ものづくり、研究開発、スタートアップなど、県内企業の輸出、海外進出、海外企業との連携を後押しします。



菊池保志 新所長

前任の河内は、2024年4月の着任から2年2カ月にわたりジェトロ茨城所長を務め、県内企業が海外ビジネスに関する相談や商談機会にアクセスしやすい体制づくりを進めました。具体的には海外バイヤーや国内商社を招いた輸出商談会の開催、昨年からの米国関税措置に関する情報提供、筑波銀行との連携強化などを通じて、県内企業の海外展開を支援してきました。また、2026年4月には、つくば市に「ジェトロ茨城・海外展開サポート窓口つくば」を新設し、海外ビジネスの専門人材「海外ビジネス・シェルパ」による伴走型支援を開始しました。菊池は、こうした支援体制を引き継ぎ、商談機会の組成や企業訪問による個別支援などを通じて、海外展開に関心を持つ県内企業への支援をさらに強化していきます。

新所長の菊池は、着任にあたり次のように述べています。

「筑西市で育った一人として、茨城の企業が海外で評価される機会を増やしていきたいと考えています。茨城県には、食品、農業、ものづくり、研究開発、スタートアップなど、海外市場とつながる大きな可能性を持つ企業・産業が数多くあります。欧州とASEANでの経験を生かし、県内企業の皆さまが、輸出、海外進出、外国人材、海外企業との連携などに一歩踏み出せるよう、現場に近い支援を進めてまいります」

ジェトロ茨城は今後、菊池新所長のもと、県内企業の輸出拡大、海外展開、スタートアップのグローバル展開、高度外国人材の活躍、海外市場情報の提供を一層強化し、茨城県経済の国際化と持続的な成長に貢献してまいります。

【本件に関する連絡先】 ジェトロ茨城貿易情報センター 担当: 菊池
〒310-0802 茨城県水戸市柵町1-3-1 茨城県水戸合同庁舎4階
Tel: 029-300-2337 Email: IBR@jetro.go.jp